



韓国ニューリーダー訪日団 招へい事業の記録

1. プログラム概要

【目的・概要】韓国全土から選抜された大学生等を招へいし、講義聴講、企業及び大学訪問、テーマに沿った各種視察、交流等を通じて、日本に対する理解を深めることで、今後の日韓間の相互理解と信頼関係増進の基盤強化に寄与することを主目的とする。

【参加者】韓国の大学生等 合計 30 名

【訪問地】訪日（東京都 30 名、広島県 30 名、岡山県 30 名、香川県 30 名）

【日程】

■ プレプログラム（オンライン事前学習事）：

1 月 24 日（金曜日）オリエンテーション（プログラム説明）、参加者による対外発信

■ 招へいプログラム：

2 月 4 日（火曜日）羽田国際空港から入国

【表敬・講義】外務省「最近の日韓関係」、来日時オリエンテーション

2 月 5 日（水曜日）【企業訪問】株式会社みずほ銀行、アサヒグループホールディングス株式会社

【大学訪問】慶應義塾大学三田キャンパス、東京大学本郷キャンパス

【視察】李秀賢氏追悼・顕彰碑含む新大久保フィールドワーク

2 月 6 日（木曜日）【表敬】駐日韓国大使館、【視察】迎賓館赤坂離宮

【表敬】参議院議員（松川るい議員）、【視察】国会議事堂

2 月 7 日（金曜日）近年の日韓関係改善の現場の地、広島県へ移動

【表敬・講義】広島県庁「国際交流員から見た広島の魅力」、【講義】被爆体験講話

2 月 8 日（土曜日）【視察】広島平和記念資料館

【視察】平和記念公園（原爆ドーム、韓国人原爆犠牲者慰霊碑等）

【講義】ホームステイ地域の概要と魅力について、【交流】ホームステイ対面式

2 月 9 日（日曜日）終日ホームステイ

2 月 10 日（月曜日）ホームステイ解散式、【視察】朝鮮通信使ゆかりの地「鞆の浦」（福禅寺対潮楼）岡山県へ移動

【視察】朝鮮通信使ゆかりの地「瀬戸内市牛窓町」（牛窓海遊文化館、本蓮寺等）

2 月 11 日（火曜日）香川県へ移動、【視察】日本の地域活性化事例「直島」（本村地区、地中美術館、李禹煥美術館、ベネッセハウスミュージアム）、岡山県へ移動、成果報告会

2 月 12 日（水曜日）岡山空港から出国

2. 記録写真



2025年2月4日【表敬】外務省



2025年2月5日【企業訪問】株式会社みずほ銀行



2025年2月5日【企業訪問】アサヒグループホールディングス株式会社



2025年2月5日【大学訪問】慶應義塾大学三田キャンパス「グローバルリスクと日韓協力」



2025年2月5日【大学訪問】東京大学本郷キャンパス



2025年2月6日【表敬】駐日韓国大使館「日韓協力の重要性」



2025年2月6日【表敬】参議院議員(松川るい議員)



2025年2月7日【表敬・講義】広島県庁「国際交流員から見た広島の魅力」

	
<p>2025年2月8日【視察】広島平和記念資料館</p>	<p>2025年2月10日【視察】鞆の浦（福禅寺対潮楼）</p>

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 韓国 大学生

一般的な旅行では実際に訪問したり、お会いしたりすることが難しい大学や教授、各種施設(国会、外務省)などの視察は決してありふれた機会ではなく、日韓外交の改善に対する実務者たちの直接的な努力を確認することができて、大変よかったです。

◆ 韓国 大学生

ホームステイと広島平和記念資料館の視察が特に印象に残っています。日韓関係と歴史的価値、また、関連する場所を視察し、現地の方々から直接お話をうかがえる機会を持てたことがよかったです。

◆ 韓国 大学生

ホームステイが一番印象深く残っています。今まで日本に住んでいる方々と実際に会って、深く交流する機会があまりありませんでしたが、今回のホームステイを通じて、ホストファミリーの方々と情緒的な交流を行いながら、「日本と韓国は相違点があるものの、類似点も数多くある」ということを学びました。最初は馴染みなく感じられた場所に、家族ができたような気がしています。

◆ 韓国 大学生

広島等、一般的な旅行ではあまり訪問する機会がなかったり、(韓国では)相対的に知られていなかったりする魅力的な場所を訪問できたことがよかったです。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 広島県庁

本県の韓国人の国際交流員から広島の隠れた宝物と題して、豊かな自然や食文化、伝統芸能等の広島県の魅力について説明を行いました。訪日団の方々からは広島県と韓国の関係や県内の観光地や産業など、幅広い分野の質問をいただき、興味を持っていただいたものと思います。今回、来庁された皆様には、これから何度も広島を訪れていただき、今回、味わえなかった広島の魅力を感じていただくとともに、将来、日韓の友好の架け橋となって活躍していただくことを願っています。

◆ 株式会社みずほ銀行

弊行の海外ビジネス全般や韓国ビジネスについて説明させていただきました。学生の皆さまからは数多くの鋭い質問をいただくなど、弊行について理解を深めていただき大変嬉しく思っております。2025 年は日韓国交正常化 60 周年の節目の年ですが、弊行としても日韓連携のさらなる強化に向けて、日韓双方にて取り組みを進めていきたいと考えております。

◆ アサヒグループホールディングス株式会社

当社の韓国を含むグループ事業、環境中心にサステナビリティ活動を紹介しました。学生の皆様から熱心にご質問をいただきました。昨今の不確実性が高まる地政学リスクに対するリスクコントロール、世界的に消費量が縮小するアルコール飲料市場への対策といった本質的な質問もありました。このような交流機会を通じて日系企業の理解を深める有意義な機会となれば幸いです。

◆ 慶応義塾大学 西野純也教授

韓国の有力大学に所属する学生たちを三田キャンパスに迎えて、日韓関係全般及び厳しい国際情勢下での日韓協力の可能性について話をする機会をいただきました。

学生たちからは多くの質の高い質問をいただき、日韓安保協力の課題、日韓両国民の相互認識、国交正常化 60 周年を迎えた日韓関係の展望について有意義な意見交換をすることができました。

◆ 東京大学 東洋文化研究所 佐橋亮教授

冒頭 20 分程の講義では、米国新政権誕生等を受けて、今後の国際政治の行方、先進国である韓国、日本の役割について議論をしました。大半の時間を質疑応答にあてましたが、米国外交や日米韓関係、経済安全保障、また国際秩序の将来について多くの優れた質問がありました。全体を通じて学生の反応が良く、上級生だけではなく新入生からも積極的に質問があったことも印象的でした。

5. 参加者の対外発信（抜粋）、報道記事等

 <p>Instagram post showing a group of people at a meeting. A banner in the background reads "60th Anniversary of the Normalization of Relations between Japan and South Korea". Below the image, there is a caption in Japanese: "님 외 여러 명이 좋아합니다. 오늘은 정치적인 측면에서 한일관계를 바라보는 시간을 가졌습니다. 아카사카 신궁, 국회의사당, 주일한국대사관 등 전통적인 건물과 한일관계를 상징하는 명소들에 방문하면서 두 국가가 경제적인 관계를 넘어 좋은 친구로 거듭나기를 희망하게 되었습니다."</p>	 <p>"Is this truly that Yoshino, who parted with me in front of our house yesterday morning?"</p> <p>히로시마 원폭 당시의 상황, 특히 피해자들의 이야기를 중심으로 한 견시를 보고 이러한 일이, 전쟁은 다시는 일어나서는 안된다는 생각이 들었다. 히로시마가 지향하는 전세계의 평화가 영원하면 좋겠다는 생각이 들었다. 무엇보다 내가 그런 일을 하고 싶다 🇯🇵🇰🇷</p> 
<p>2025 年 2 月 6 日 (Instagram) 今日は政治的な側面から日韓関係を考察する時間</p>	<p>2025 年 2 月 8 日 (Blog) 広島が被爆した当時の状況、特に被爆者の方々の</p>

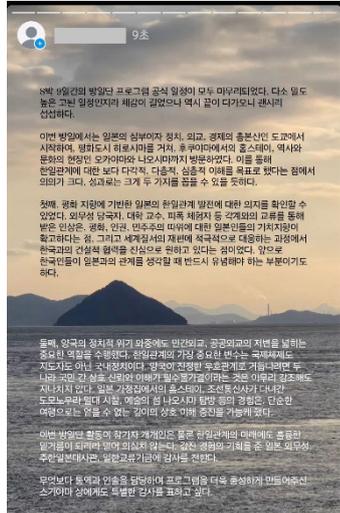
を持ちました。迎賓館赤坂離宮、国会議事堂、駐日韓国大使館等、伝統的な建造物や日韓関係を象徴する名所を訪問することで、両国が経済的な関係を超え、良き友人として関係が構築されていくことを願うようになりました。

話を中心とした展示物を見て、「戦争は二度と起こってはいけない」と感じました。広島が思い描く全世界の平和が永遠に続いていくことを願いました。そして何よりも、私がおの担い手になりたいと思いました。



2박 3일의 짧은 시간이었지만, 상상했던 것보다 훨씬 더 경이 많이 들었다. 무뚝뚝했지만, 뒤에서 챙겨주셨던 오프상, 우리를 말 돌처럼 챙겨주셨던 오카상, 너무 귀여웠던 치키짱까지! 마지막에 버스에서 손을 흔들어주시고 마지막 인사를 했을 땐 정말 눈물이 났다. 일본에 또 갈 때 꼭 한국 오카시나 오차, 치키짱의 아이비 굿즈를 사려고 다시 만나고 싶다.

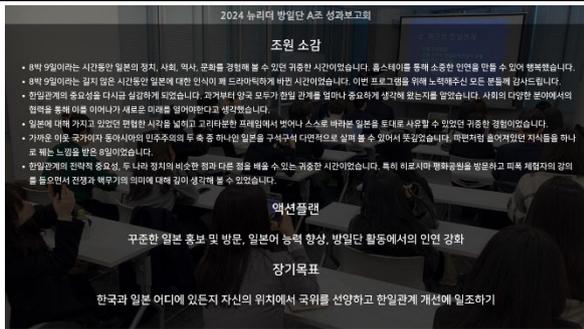
한국인의 입장에서 생각했던, 그리고 일본인의 입장이 나 생각이 궁금했던 여러가지 일들에 대해서 이야기를 나누고 많은 것을 배운 시간이 되었다. 무엇보다 일본어도 더더 공부하고 싶고, 이런 사람들과 좋은 풍경을 가진 일본에서 살아보고 싶다는 생각이 많이 들었다.



2025年2月10日 (Blog)
2泊3日の短い時間でしたが、想像していたよりもはるかに情が深まりました。(中略) 韓国人の立場から考えていたことや、日本人の立場、考えなど、今まで気になっていたことについて話すことができ、多くを学びました。もっと日本語を勉強して、いつか日本に住んでみたいと思いました。

2025年2月11日 (Instagram)
8泊9日間の訪日団が終了します。(中略) 日韓両国が真の友好関係を築いていくためには、国民間の相互理解と信頼が必要不可欠です。今回のホームステイや朝鮮通信使ゆかりの地の視察などの経験は、旅行では体験することのできない深みのある相互理解の増進につながったと思います。

6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表 (概要または抜粋を記載する)



한국 New Leader 방일단 E조

01 소감

- 양국의 역사적, 문화적 관계를 탐구하며 상호 이해를 넓힘
- 일본 위상상 단과, 주요 대학 교수 등 한일 관계 전문가들과의 질담 및 토론을 통해 일본의 외교적 입장을 깊이 이해
- 폴스타이를 통해 일본의 일상 문화에 대해 일본인들의 따뜻한 마음을 체험

→ 양국이 경제적 불확실성을 겪고 있는 시기에 공공외교, 민간외교의 중요성을 실감
→ 미래지향적 한일관계의 핵심인 국민 간 신뢰 및 우호 증진의 중요성을 평소 체험

02 액션 플랜

- 일본어 및 일본 문화에 대한 지속적인 학습
- 교내 한일 교류 동아리 가입 (또는 직접 설립)
- 한일 대학생 간 지속적인 교류 네트워크 구축
- 글로벌 문제(기후 변화, 세 경제 협력 등) 해결을 위한 대화형 주도 프로젝트 추진

03 참가 목표

한국과 일본 사이의 기교가 되어 상호 발전적인 한일 관계의 이득을 널리 전파

【成果の発表】

- 日韓関係の専門家による講義聴講を通じて、国際社会における日韓交流の意味を実感するとともに、日韓関係の重要性を再認識することができました。
- 朝鮮通信使の足跡を辿りながら、両国が積み重

【成果の発表】

- 両国の歴史的、文化的関係を探求しながら、相互理解を深めることができました。
- 外務省や大学など、日韓関係の専門家による講義及び質疑応答を通じて、日本の外交的立場について理解を深めました。

<p>ねてきた大切な縁を実感することができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本訪日団への参加を通じて、様々な視点からより深く日韓関係を理解することができました。このような経験が今後の日韓関係の未来をより強固にする土台となるよう、努力し続けたいです。 <p>【アクション・プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブログやSNSを通じて、訪日の記録を共有するとともに、日本文化を広く伝えることのできるカードニュース等を制作します。 ・日本文化関連の小規模なイベントや学内のサークル活動に参加し、日本人学生と交流します。 ・訪日経験を活用し、地域社会における日本との協力プロジェクトの企画、日本語能力試験の勉強、日本関連のボランティア活動への参加を実践します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームステイを通じて、日本の日常生活や文化、日本人の思いやりの心に触れることができました。 ・両国が政治的不確実性を経験している今、公共外交（パブリック・ディプロマシー）や民間外交の重要性を実感しました。 ・未来志向的な日韓関係の核心である両国民間の信頼及び友好増進の重要性を体感しました。 <p>【アクション・プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語及び日本文化について学び続けます。 ・学内の日韓交流サークルに加入、または自ら立ち上げます。 ・グローバル課題（気候変動、AI、経済協力等）の解決に向けて、大学生主導のプロジェクトを推進します。
--	---

実施団体名：公益財団法人日韓文化交流基金